



親子でガレージで過ごす時間を共有しながらの英才教育。親の立場としては母桑、息子さんにこのハチロクをドライブしてもらいたいと願うのであった。

今から約20年前の1995年、漫画頭文字D(通称・イニシャルD)の連載が始まり、群馬県の峠道を舞台に高速で走るクルマたちが描かれた。それがイニシャルDであり、主役がドライブしたクルマがトヨタ・スプリンター・トレノ、AE86型である。今回のガレージの主・Yさんも若いころに熱中した読者の1人であり、読破したというその当時からAE86をドライブ。Yさんにとって2台目のAE86型イニシャルD仕様を手に入れたのが2013年の春のこと。今まで所有していたクルマに加え、もう1台愛車が増えたことをきっかけに、母屋に隣接した自身の土地にガレージを建てようと考えた。なぜなら旧車のためにもガレージは必要と考えたからだ。

そこで雑誌、ネットでキットガレージメーカーを検討。アクセスしたのが長野県を拠点にキットガレージを建てる「グリーンベル」である。クルマを2〜3台収納すること、そしてコレクションルームを隣接させること、そしてモトーンでシンプルなデザインを希望してコストパフォーマンスに優れていることが重要だった。メールで希望を伝えたとこ、今までの経験などを踏まえて提案をしてくれたという。Yさんいわく「いろいろな提案をしていただき、経験が豊富だったことが安心できた」と語る。ピットをガレージに設置するときには事前に依頼したほうがコストに優しいことや、シンプルにするために壁面の貼り方を工夫したことなどはすべて「グリーンベル」代表・西澤さんの社長と打合せをして決めたこと。

昔からドイツツーリングカー選手権(DTM)にも関心が高く、仕事をしてお金を貯めて購入したBMW

オイル交換作業が容易にできるようにと深さ70cmのピットが用意された。音はグラスレッチングにより落下防止に努める。

05 親子で楽しむガレージライフ。 きっかけはクルマがテーマの漫画。

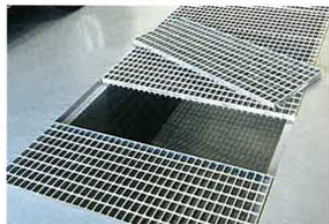
GARAGE LIFE EXAMPLE

群馬県 Y 郎 グリーンベル

群馬県が舞台となって書き上げられた漫画・イニシャルD。峠道において自動車を高速度で走る走り屋が主役。そんなストーリー展開にわくわくしながら憧れたクルマが、トヨタ・スプリンター・トレノ。

今回のガレージは新車のようなクルマが主役である。

Photo/Hiroyuki-KONDO (正藤浩之) Text/Jun-ISHIHARA (石澤 淳)
Special thanks to Greenbell Phone/0120-417-127
http://www.green-bell.co.jp



上ノブラックのガルバニウム鋼板を貼り付けた外壁。室を設計したことでも採光性にも優れている。下ノ2台の愛車。2001年に'90年式BMW E30M3スポーツエボリューションと'84年AE86スプリンター・トレノが納められたガレージ。じつはもう1台が入るほどのスペースもある。



ガレージにはピット、排気ダクト、コレクションルームを要望したYさん。ベースはガレージの建築経験が豊富な「グリーンベル」の木造キット。ラジコンのボディはM3の友人M三郎さんが製作。



05 PLANNING DATA & MATERIALS

小排気量エンジンをドライブ。
サーキット走行を楽しめる2台。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF M.Y.

クルマの整備することを考えて、蛍光灯も設置したガレージ内。仕事の時限の全部を返ってクルマを整備するのが将来の夢でもある。



YKK AP製ホールディングドアの採用によりガレージと一体感が持てるようになったコレクションルーム。当初はめ殺しの扉だったものを設計変更してもらったため。

じつはまだ免許を取得していない息子さん。インシャルDを読んだのは父親の漫画がきっかけとなったが、最近、実軍に興味を持ち始めいっしょにハチロクにてドライブに出かけるようになった。将来は「カーランド」でレストアが施されたAE86をドライブしたいと願望があり、最近では父親がいなくてもガレージでクルマを磨くことも少なくない。ガレージの趣味部屋で、クルマを見ながら勉強をするなど父親にとってはとても嬉しい誤算でもある。父親のドライブで漫画インシャルDに登場する現場に行くなど楽しいこともあり、18歳になったら免許を所得したいクルマ好きな青年。まさに親子でクルマのある生活を楽しんでいる。ガレージのなかに併設したコレクションルームにはYさんが所有している60台くらいのダイキャストカー

を保管するスペースが欲しかったほか、トイレ、簡単な洗面スペースを希望し図面に落としていただいた。コレクションを飾る棚は、Yさんが通信販売で見つけたもので、ライトを光らせ、鏡で後ろのディテールまで確認できるなど狙いどおりの部屋となった。最近ではカッティングマシンを購入し、昔の映像や、写真集をみながらE30M3スポーツエディションのドレスアップに余念がない。もっと季節がよくなり、暖かくなったらクルマで40分の榛名山にドライブの予定だ。親子でクルマを受け継ぐYファミリーにとってはガレージが必要不可欠の宝箱なのだ。



上/スイッチ一つで開閉するスチール製のガレージドア。静粛性にも優れていて、まさにホワイトのカラーが本体とのコントラストが利いているとはYさん。左/洗車のための水道をガレージ外に設置。デザイン性に優れたものは「グリーンベル」西澤代表による提案。



広い空間を保つコレクションルーム。冷蔵庫、トイレも完備しているので併設している母屋に行かなくてもいいようにと設計した。



まだ学生の息子さんは、父親の英才教育を受けるべくクルマ好きな青年に。今では父親といっしょにガレージでクルマの管理を行う。

COMMENT FROM A BUILDER

株式会社グリーンベル
西澤英敏代表

Y様はガレージ室内の設備や住空間としての機能も最初の打ち合せの時から重要視されていました。こだわりの部分はこだわり、削れるところは諦めたり、メリハリをつけることでコストパフォーマンスの良いバランスの取れたガレージに仕上がりました。打合せにはパースを取り入れ、具体的なイメージを持って頂きながら詳細を決めることが出来たのが、満足度アップへの重要な要素だと思います。

長野県諏訪郡富士見町富士見11901-4
☎0120-417-127



KTC製の工具箱とともにBMWのスペアパーツを保管するスペース。E30M3のフードを軽量化したため、ボディは壁面にディスプレイ。



PLANNING DATA

所在地 東京都葛飾区Y部
家族構成 夫婦+お子様2人
ガレージ面積 86.54㎡
竣工年 2013年10月
愛車 1990年式BMW E30 M3スポーツエディション
1984年式トヨタAE86 スプリントレーノ

OWNER'S CHECK

- 一番気に入っているところは？
ピット、EG-WAY OUT、コレクションルームと希望通りのものができたこと。要望をかなえていただいた「グリーンベル」さんに感謝です。
- ちょっと失敗したところは？
もう少し広かったらよかったかも…。
- 次の夢はなんですか？
2台の愛車を自分でオイル交換やショックの交換などをして楽しみたいですね。

上/天井から排気システムを用いることでスペースを有効活用したY部。しっかりとした支えはEG WAYOUTを発売する「セーフティライフ」の特注品。下/排気ダクトシステム「EG WAYOUT」を採用したガレージ。壁面を汚さないため、Yさんがホームセンターでパネルを購入、カッティングシートでコーディネートしている。

